

「長生きしたくない」は禁句



これは医者いしやの業わざというものか？
患者さんに「長生きしたくない」
なんて言われると、ゾッとする。

70歳をとうに過ぎたワッシーの
仲間も、集まると誰かが「長生き
したいか？」と問いかけ、みんな
は「ノー」と口をそろえる。が、そ
れは、死にたいといつのもなご
そくだ。「おかげで十分生きた。体
も元氣、認知症になる前にお迎え
に来てほしい」ということらしい。

だが、日本人の平均寿命は延び
るいっぽうだ。2016年の平均
寿命は男性が80・98歳で、女性は
87・14歳になった。ちなみに、わ
ずか100年前、大正時代の寿命
は45歳にも満たなかった。という

延び続ける平均寿命

のに、最近の研究にも、マウスだ
が、脳の視床下部に神経幹細胞を
移植することで老化を遅らせ寿命
を延ばすことに成功した、とい
うものもある。この高齢化時代に、学
者も医者もまだまだ寿命を延ばそ
うとしている。

大正時代や昭和も中頃過ぎて、
50、60歳代のひとでも「長生きし
たくない」とは言わなかったはず
だ。隠居しても体は元気で、知恵
も知識も重宝され尊敬された。認
知症の患者さんなんて、ほとんど
いなかった。

が、今の時代。巷まちに隠居は溢あふ
れて希少価値はゼロだ。情報だっ
て、年寄りに頼らなくても、ネッ

誇れることいっぱいある

トで簡単に手に入る。大切にされ
るワケがない。なのに、今の年寄
りの身体能力は、10年も若返って
いるという。ならば、これから先
の毎日を、ただ老いることに怯え
ながら生きていてたまるものか。

そくだ。年寄りには、誇れるこ
とがいっぱいある。年だからこそ、
分かることもある。今だから、で
きることもある。老婆の目を気に
せず、自由に使える時間がある。
個性豊かに、人生を楽しめるのだ。
もう、「長生きしたくない」など
という気弱な言葉を、口に出すの
をよそう。

(石黒修三 しいしくクリニック
・脳神経外科専門医、金沢市在住)